

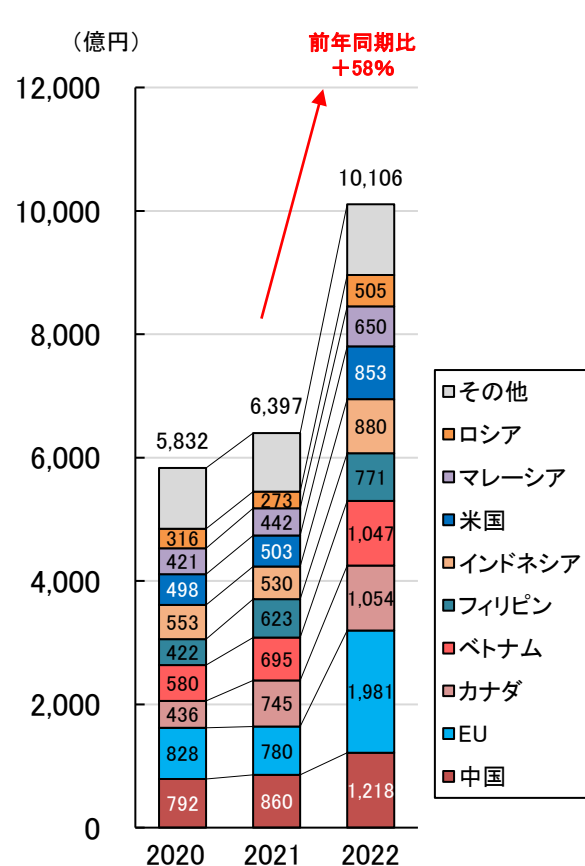
# 木材輸入の状況について

(2022年7月実績)

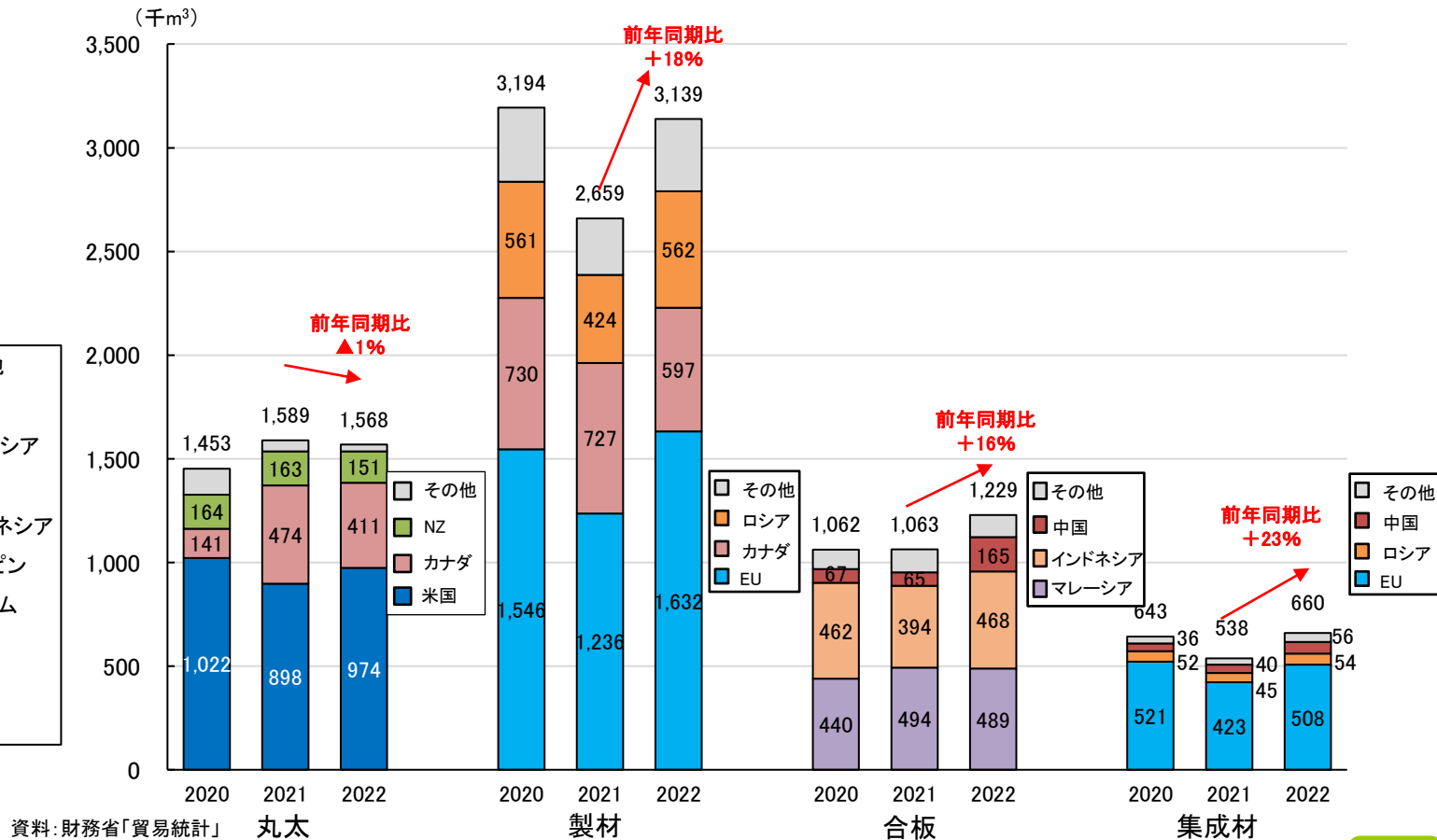
令和4年8月  
林野庁 木材貿易対策室

# 1. 2022年7月までの木材輸入実績(累計)

- 2022年1～7月の木材輸入額累計は、前年同期比+58%の1兆106億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲1%、製材が同+18%、合板が同+16%、集成材が同+23%。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～7月の木材輸入額累計は同+73%。品目別輸入量では、丸太が同+8%、製材が同▲2%、合板が同+16%、集成材が同+3%。



木材輸入額の推移  
(2020～2022年における1～7月累計)



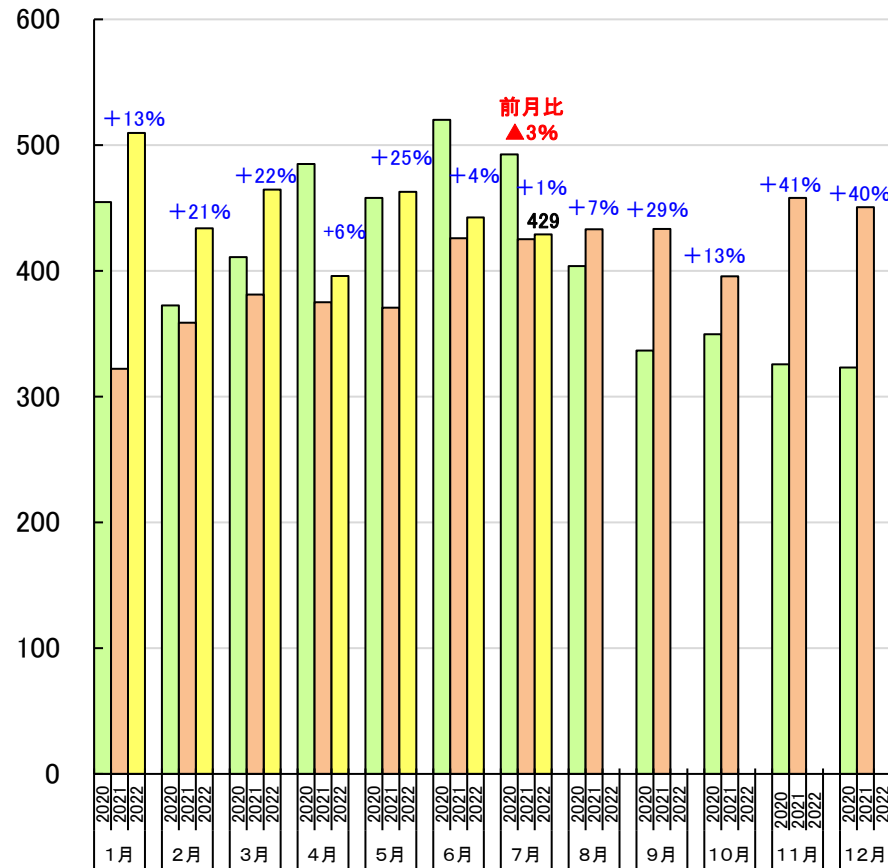
(注)2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

品目別木材輸入量の推移  
(2020～2022年における1～7月累計)

## 2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2022年7月の製材輸入量は、前月比▲3%減の43万m<sup>3</sup>(前年同月比+1%増、2020年同月比▲13%減)。1～7月の累計は、前年同期比+18%増(2020年同期比▲2%減)の314万m<sup>3</sup>。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+10%増の10万m<sup>3</sup>(前年同月比+9%増、2020年同月比▲8%減)。1～7月の累計は、前年同期比+23%増(2020年同期比+3%増)の66万m<sup>3</sup>。

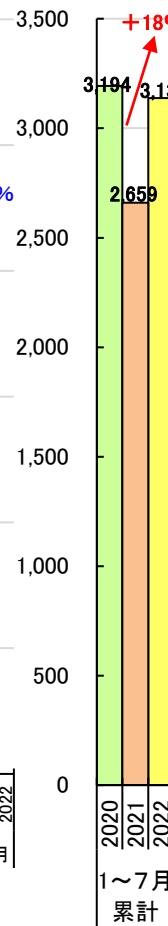
(千m<sup>3</sup>)



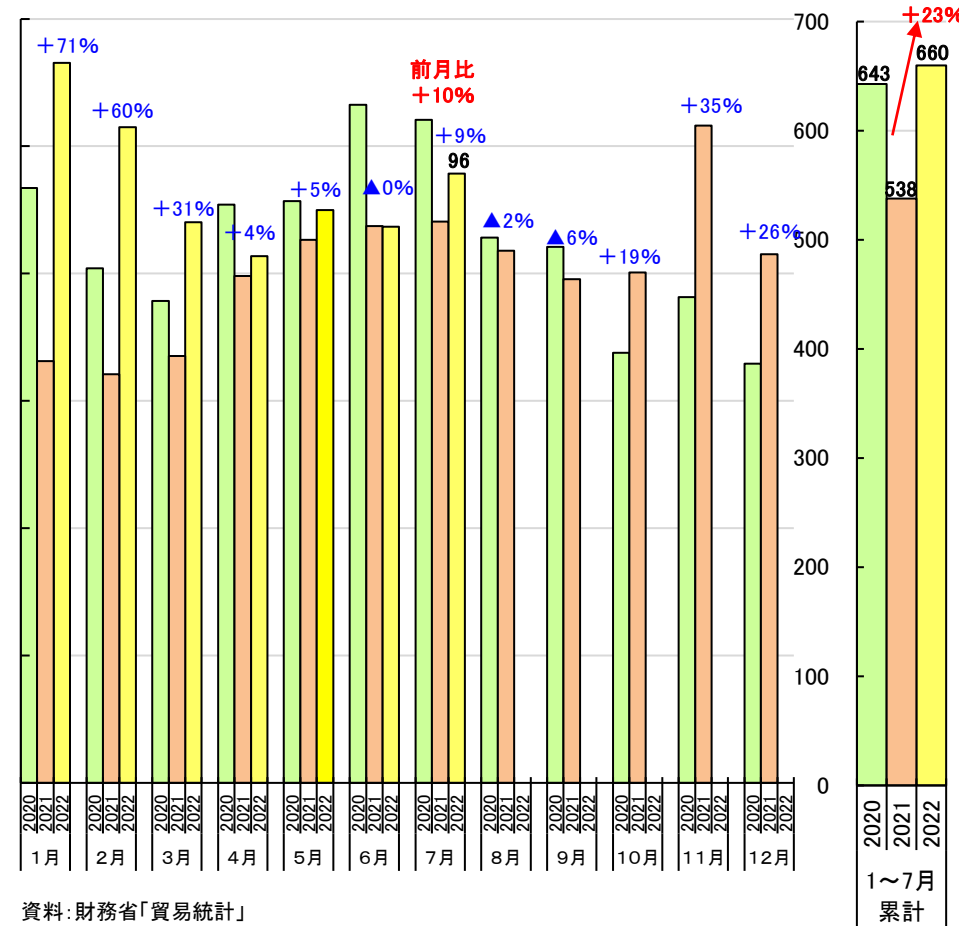
資料: 財務省「貿易統計」

製材の輸入量

(千m<sup>3</sup>)



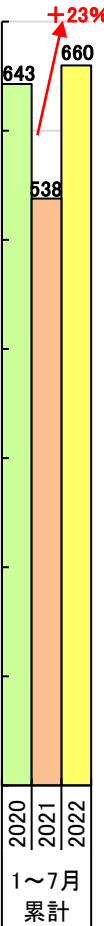
(千m<sup>3</sup>)



資料: 財務省「貿易統計」

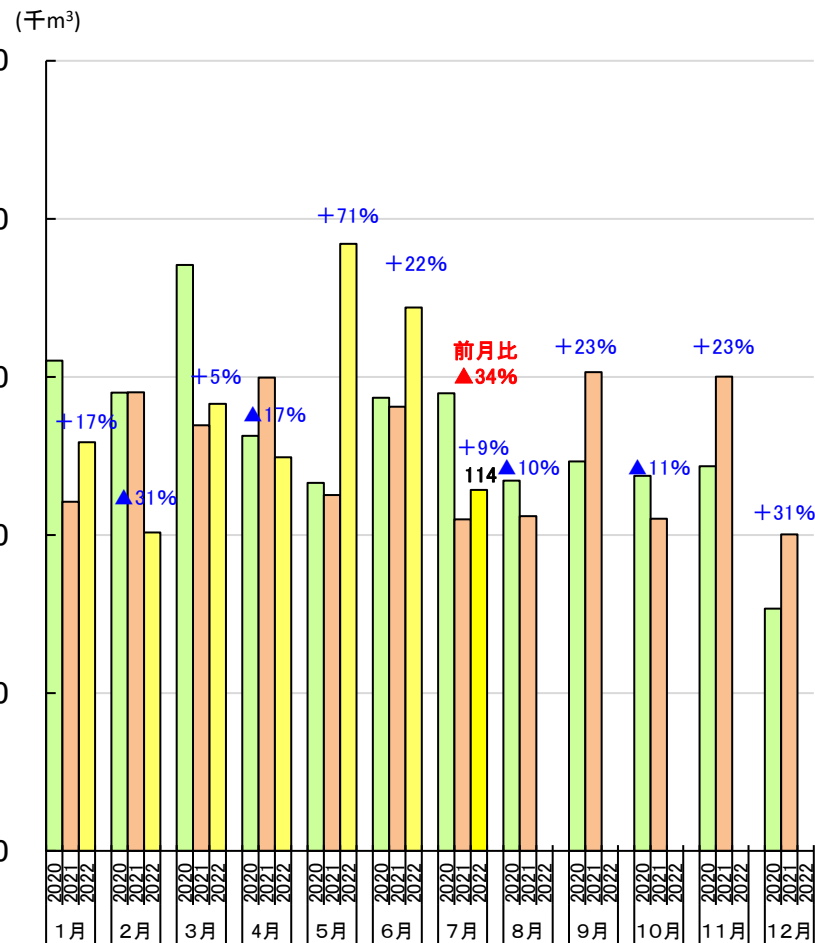
集成材の輸入量

(千m<sup>3</sup>)



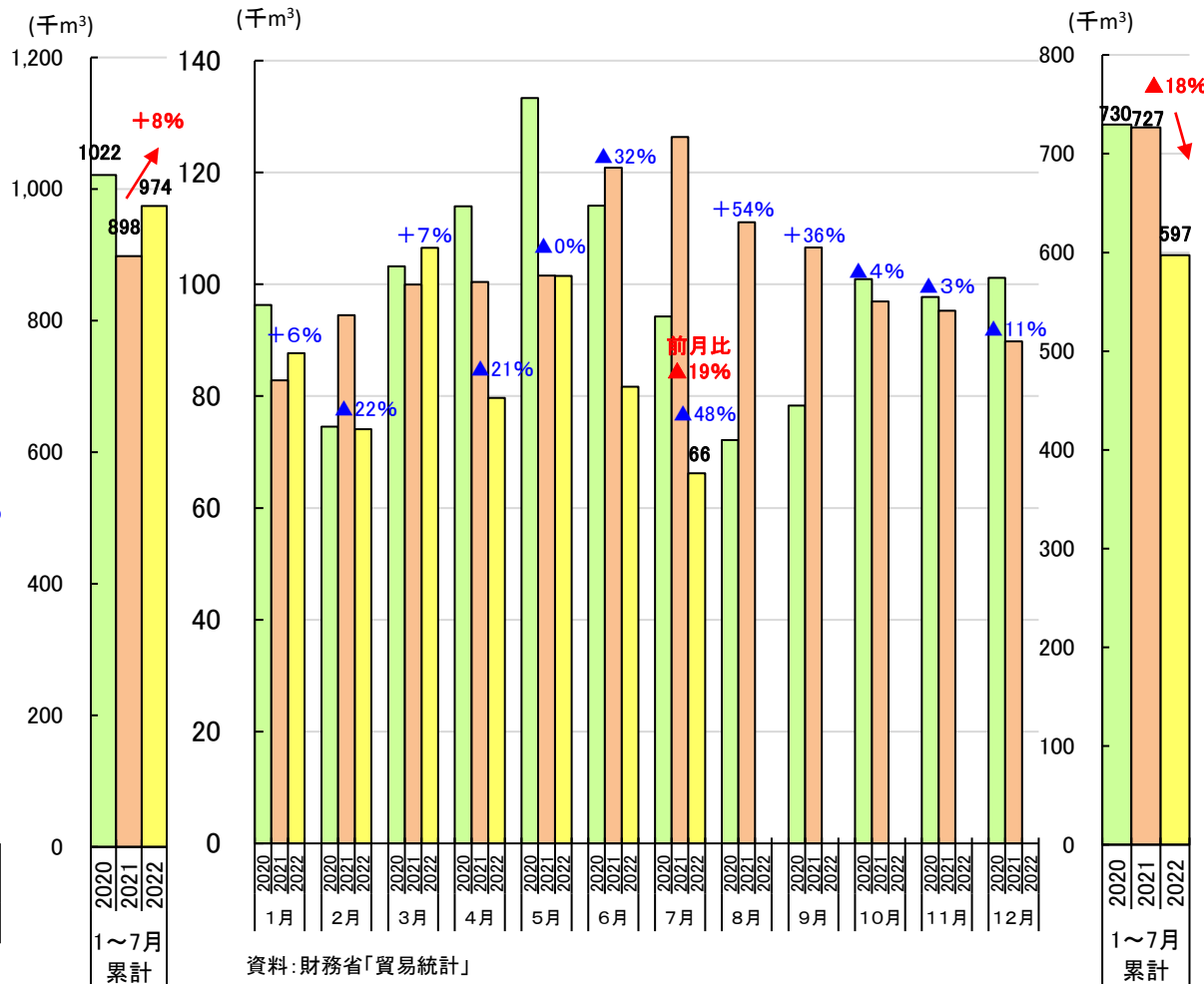
### 3. 北米からの月別輸入量

- 2022年7月の米国からの丸太輸入量は、前月比▲34%減の11万m<sup>3</sup>(前年同月比▲34%、2020年同月比▲21%増)。1～7月の累計は、前年同期比+8%増(2020年同期比▲2%減)の97万m<sup>3</sup>。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲19%減の7万m<sup>3</sup>(前年同月比▲48%減、2020年同月比▲30%減)。1～7月の累計は、前年同期比▲18%減(2020年同期比▲18%減)の66万m<sup>3</sup>。



資料:財務省「貿易統計」

米国からの丸太輸入量

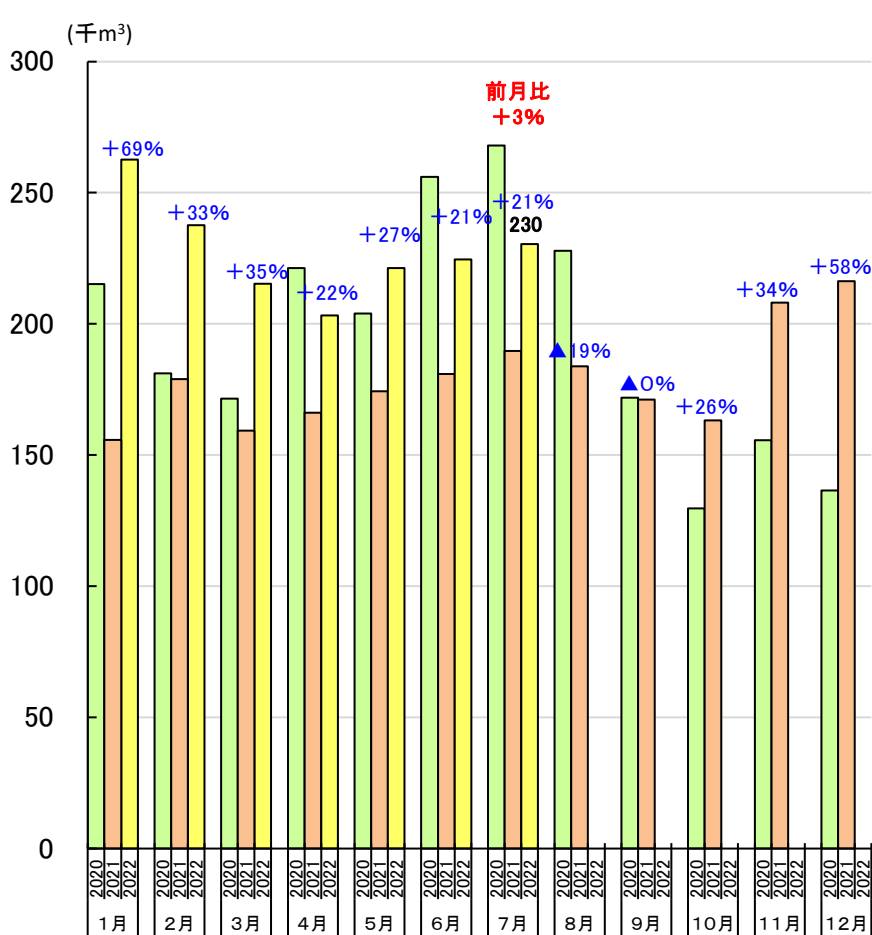


資料:財務省「貿易統計」

カナダからの製材輸入量

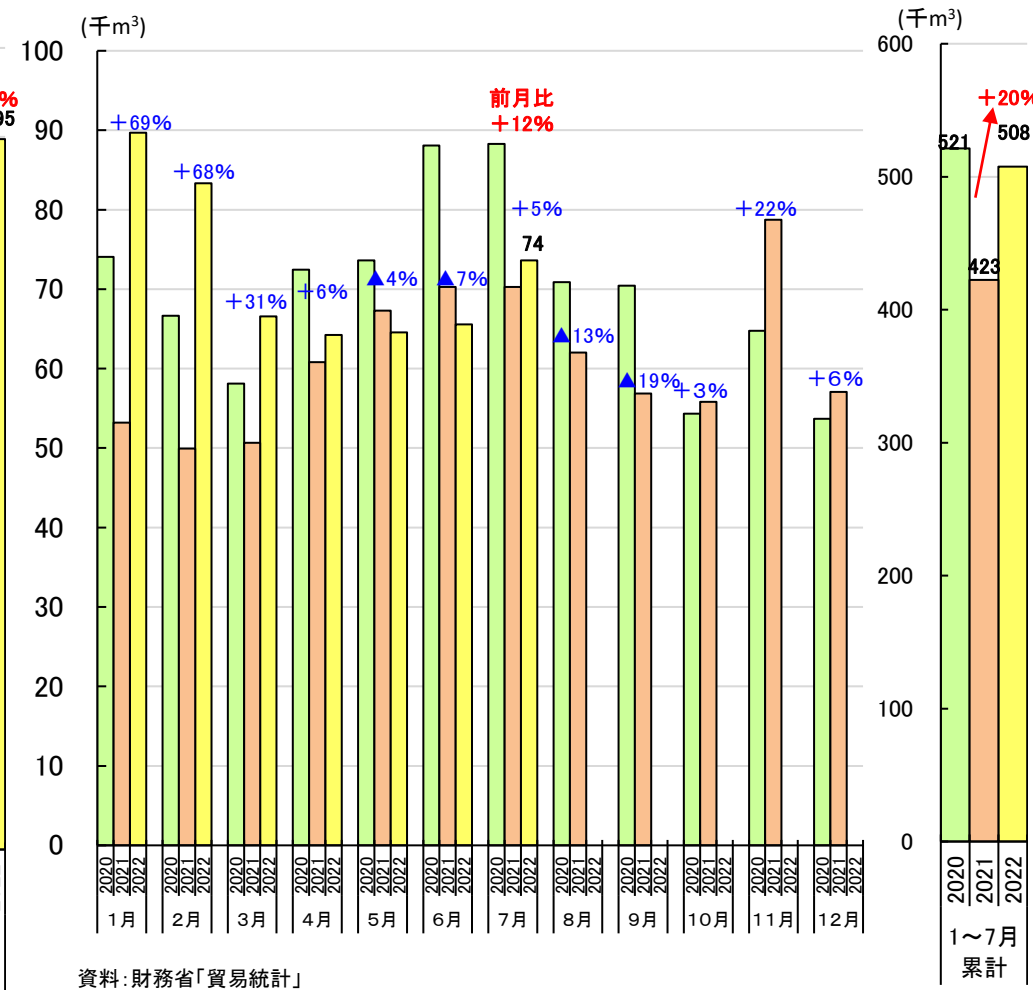
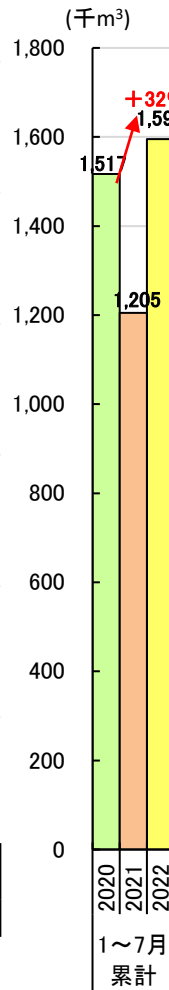
## 4. 欧州からの月別輸入量

- 2022年7月のEUからの製材輸入量は、前月比+3%増の23万m<sup>3</sup>(前年同月比+21%増、2020年同月比▲14%減)。1～7月の累計は、前年同期比+32%増(2020年同期比+5%増)の160万m<sup>3</sup>。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+12%増の7万m<sup>3</sup>(前年同月比+5%増、2020年同月比▲17%減)。1～7月の累計は、前年同期比+20%増(2020年同期比▲2%減)の51万m<sup>3</sup>。



資料:財務省「貿易統計」

EUからの製材輸入量

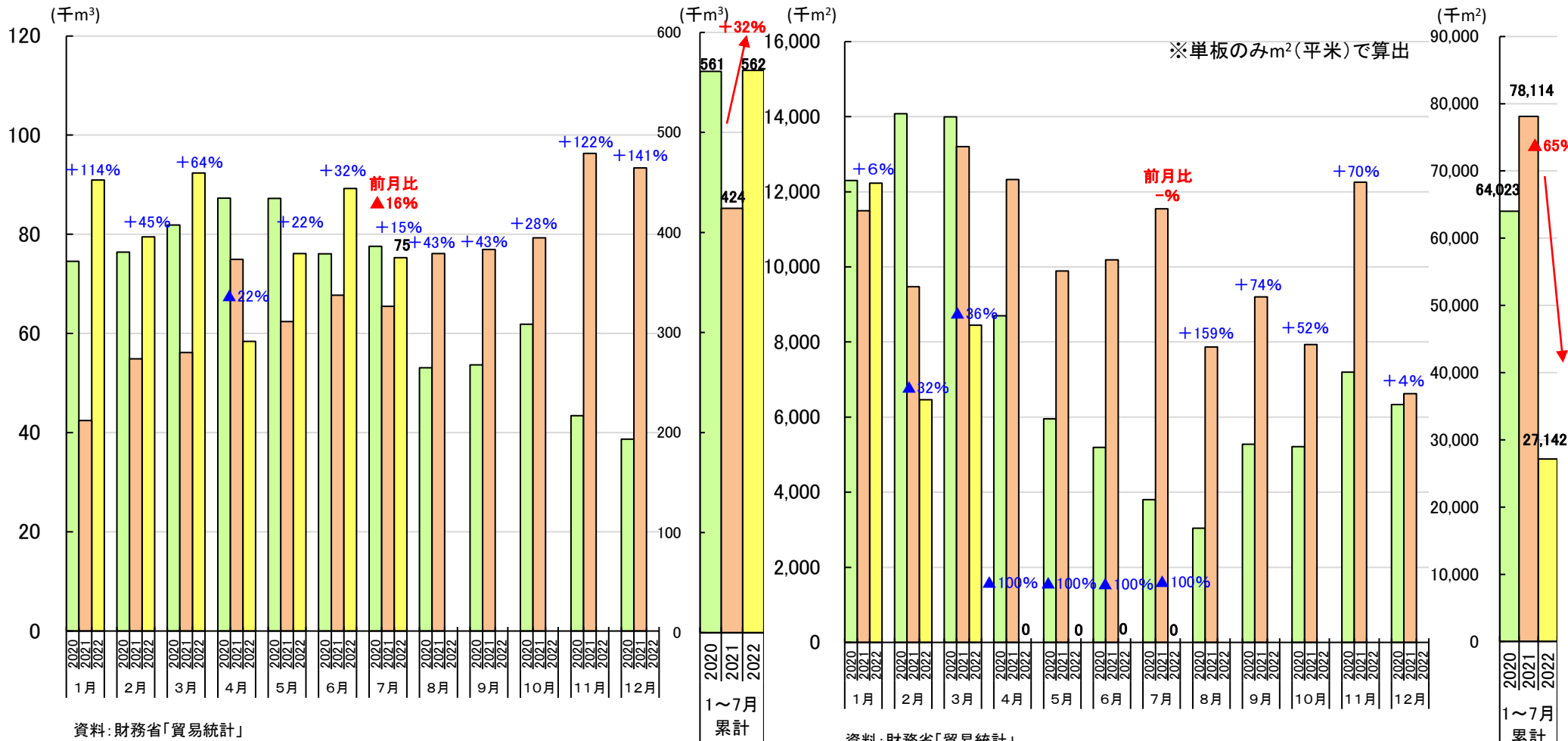


資料:財務省「貿易統計」

EUからの集成材輸入量

## 5. ロシアからの月別輸入量

- 2022年7月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲16%減の8万m<sup>3</sup>(前年同月比+15%増、2020年同月比▲3%減)。1～7月の累計は、前年同期比+32%増(2020年同期比▲0%減)の56万m<sup>3</sup>。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、輸入実績なし(前年同月比▲100%減、2020年同月比▲100%減)。1～7月の累計は、前年同期比▲65%減(2020年同期比▲57%減)の2,714万m<sup>2</sup>。

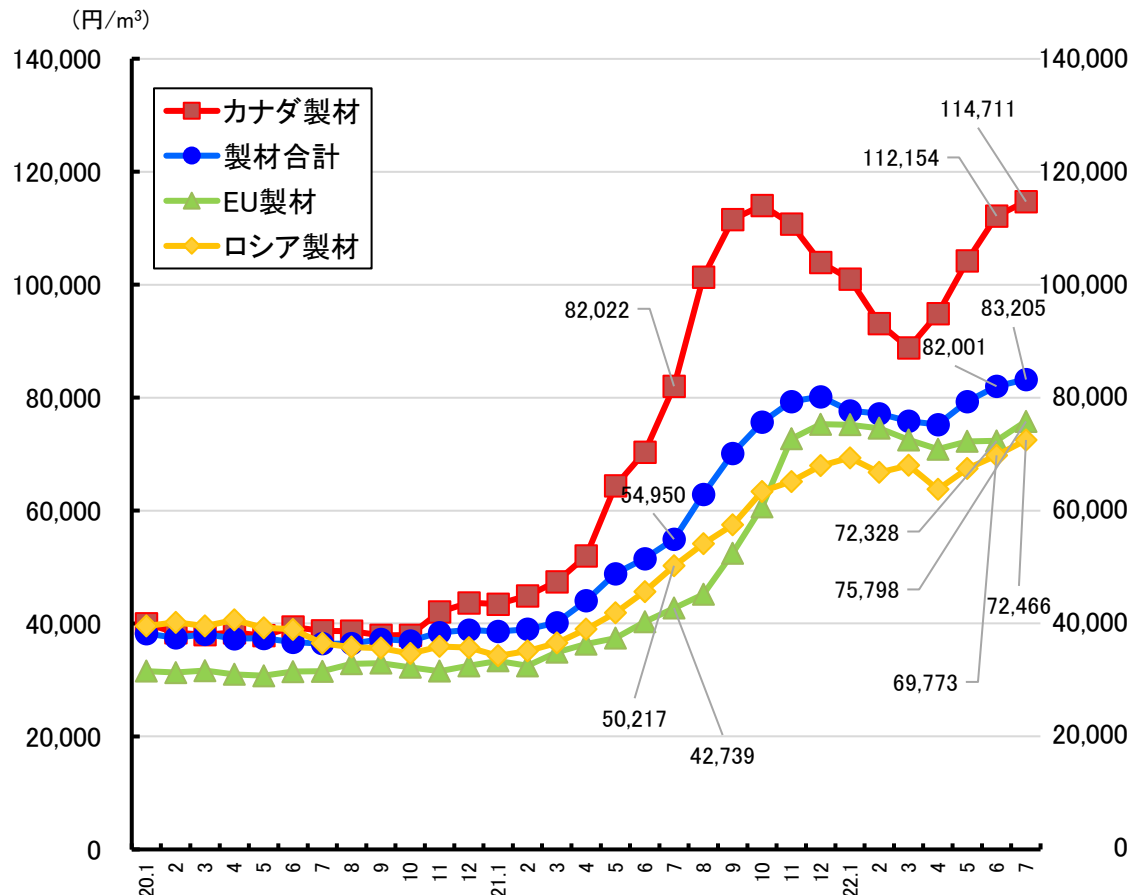


ロシアからの製材輸入量

ロシアからの単板輸入量

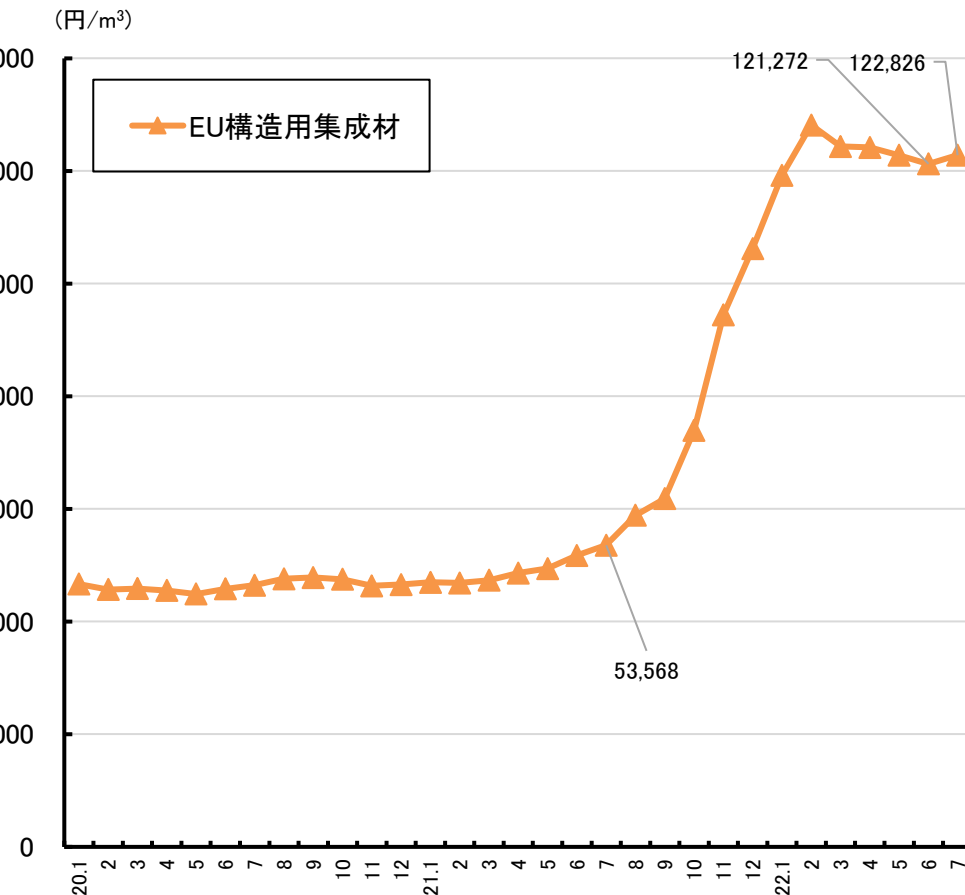
## 6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年7月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比+1%増の83,205円/m<sup>3</sup>（前年同月比+43%増）。うち、カナダの製材は、前月比+2%増の114,711円/m<sup>3</sup>（前年同月比+40%増）、EUの製材は、前月比+5%増の75,798円/m<sup>3</sup>（前年同月比+77%増）、ロシアの製材は、前月比+4%増の72,466円/m<sup>3</sup>（前年同月比+44%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+1%増の122,826円/m<sup>3</sup>（前年同月比+129%増）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価



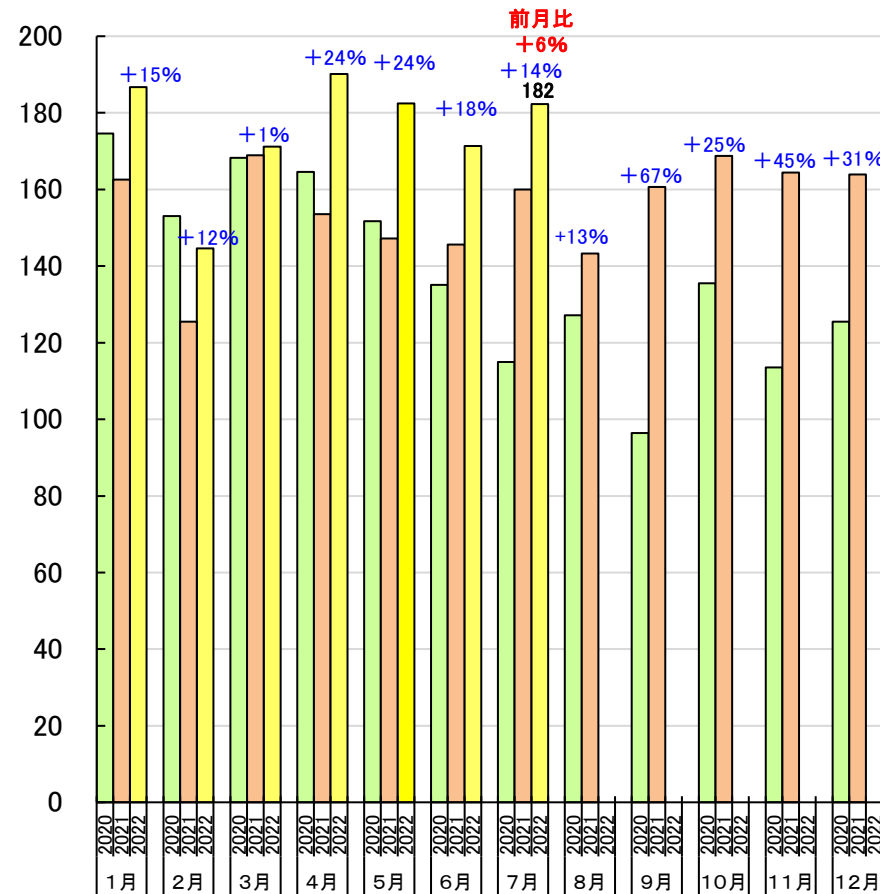
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

## 7. 合板の月別輸入量と価格

- 2022年7月の合板輸入量は、前月比+6%増の18万m<sup>3</sup>(前年同月比+14%増、2020年同月比+59%増)。1～7月の累計は、前年同期比+16%増(2020年同期比+16%増)の123万m<sup>3</sup>。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+12%増の108,333円/m<sup>3</sup>(前年同月比+59%増)。

(千m<sup>3</sup>)

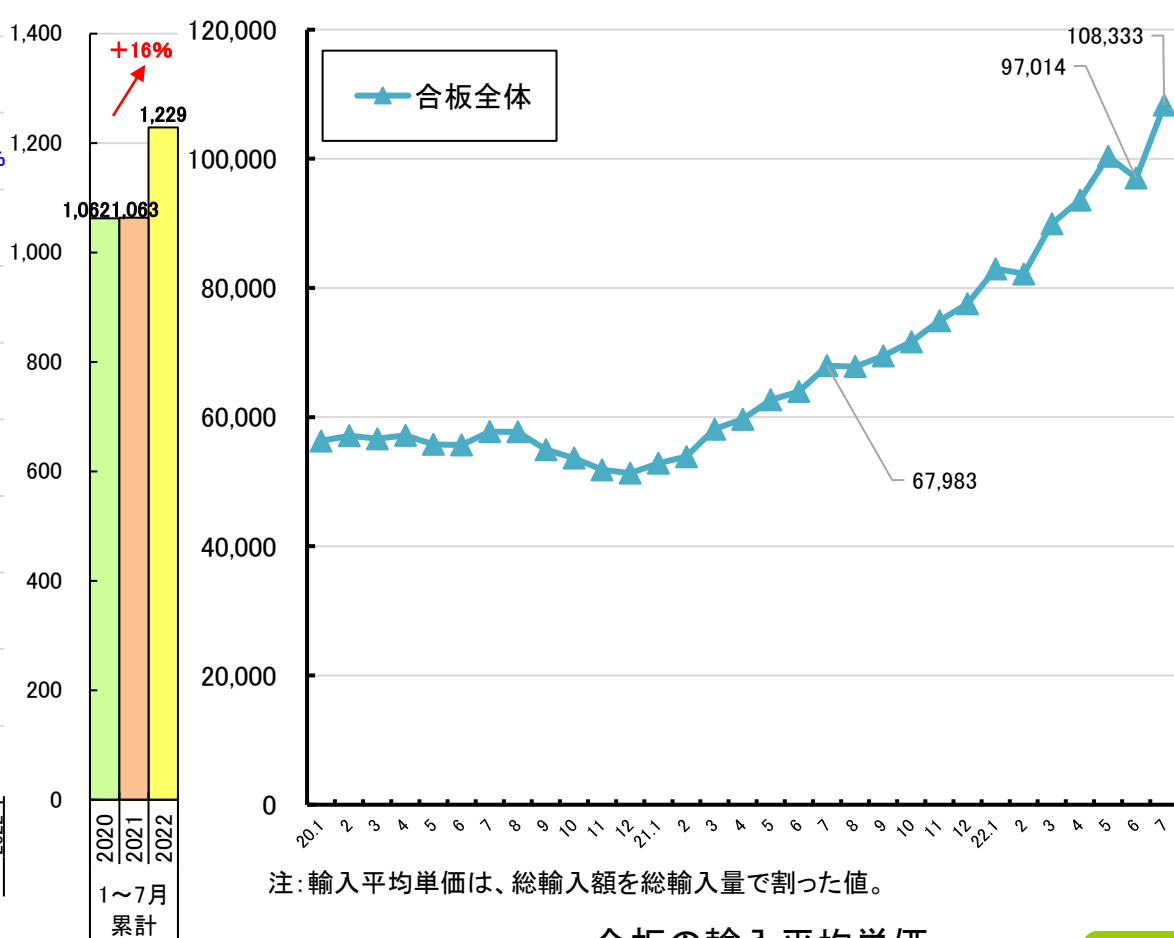


資料:財務省「貿易統計」

合板の輸入量

(千m<sup>3</sup>)

(円/m<sup>3</sup>)

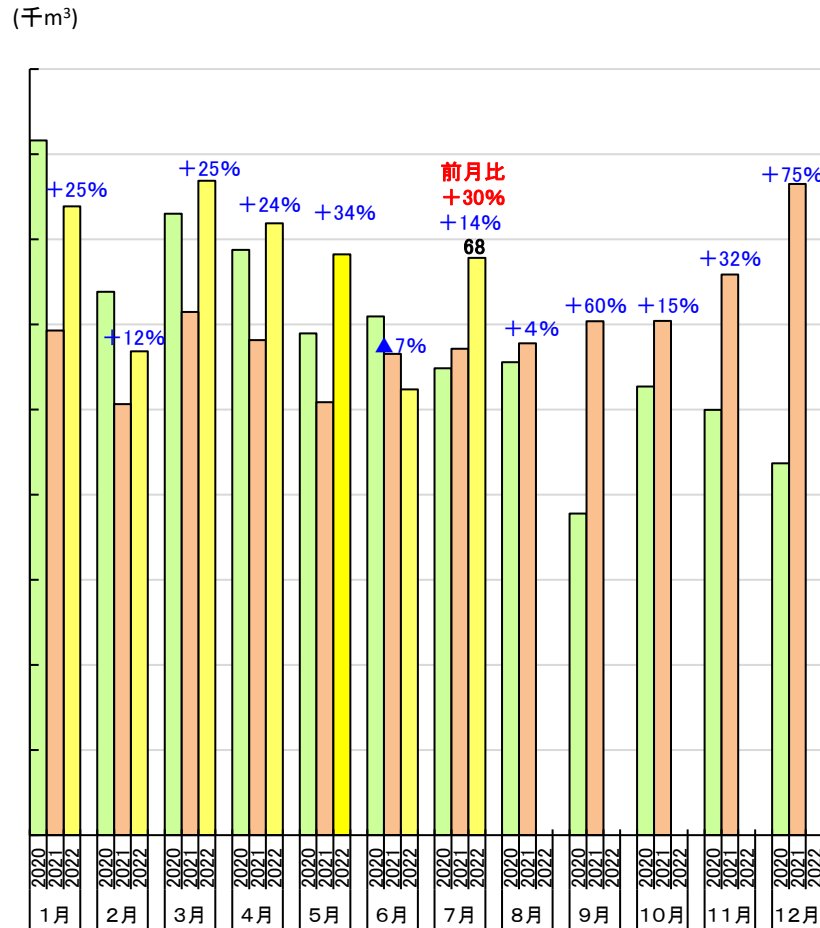


注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

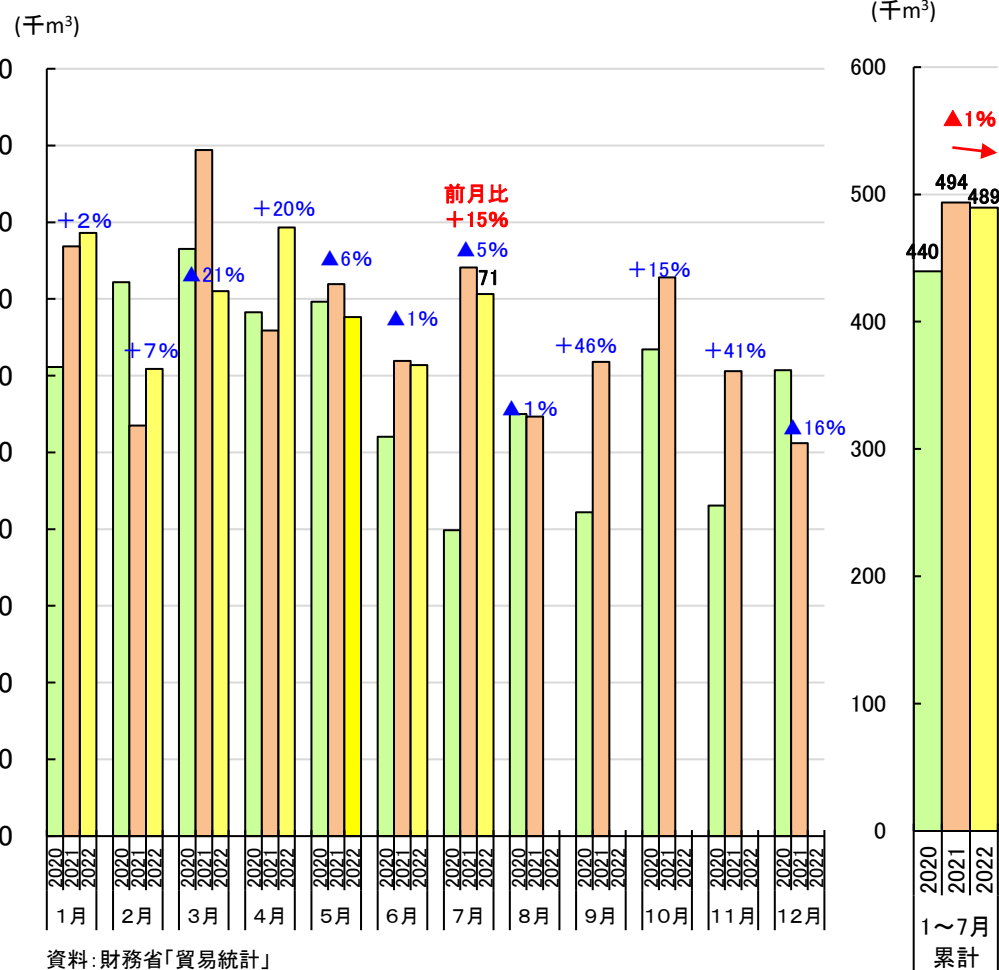
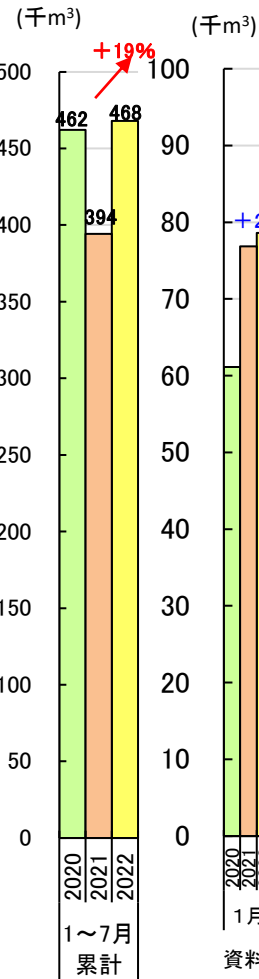
合板の輸入平均単価

## 8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年7月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比+30%増の7万<sup>m</sup><sup>3</sup>（前年同月比+14%増、2020年同月比24%増）。1～7月の累計は、前年同期比+19%増（2020年同期比+1%増）の47万<sup>m</sup><sup>3</sup>。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+15%増の7万<sup>m</sup><sup>3</sup>（前年同月比▲5%減、2020年同月比+77%増）。1～7月の累計は、前年同期比▲1%減（2020年同期比+11%増）の49万<sup>m</sup><sup>3</sup>。



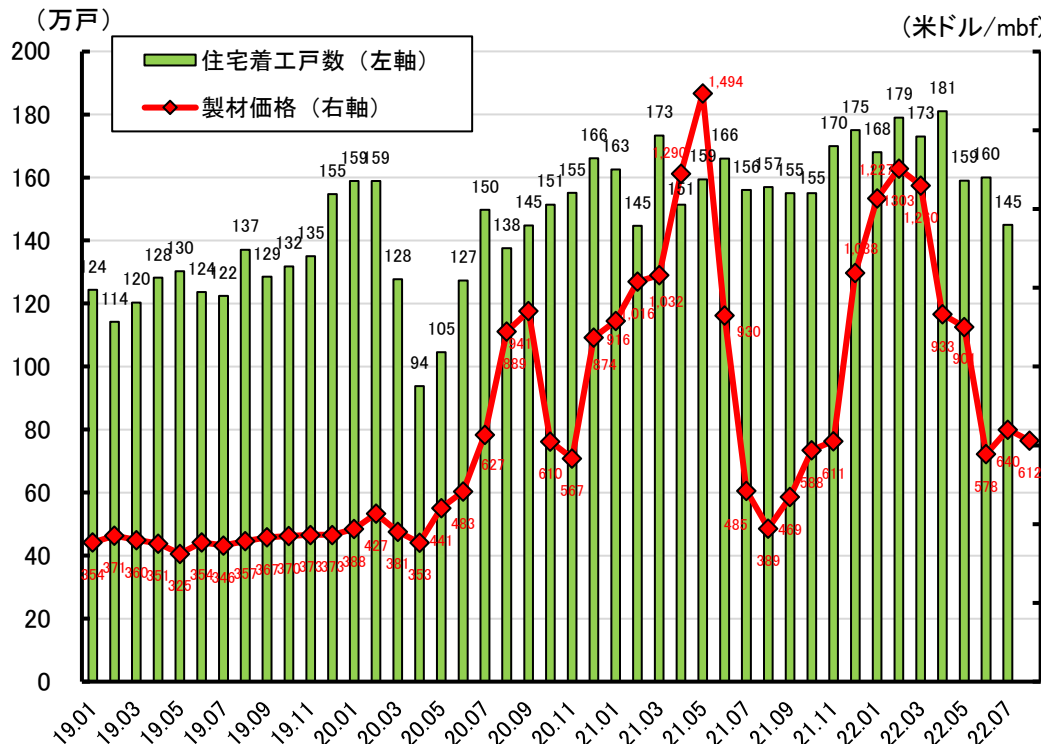
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

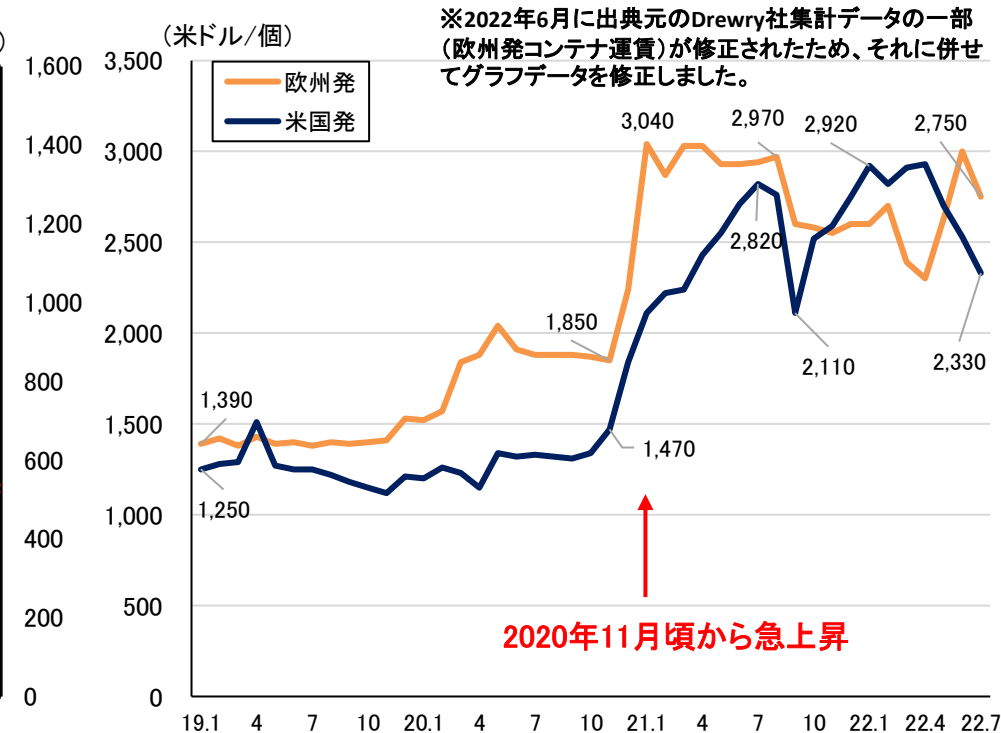
# (参考1) 米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向。2022年7月は前月比▲9%減の145万戸。
- 北米の木材価格は、2020年夏から急上昇。同秋に一旦下がったものの同冬から再び急上昇し、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後急落したが、同年9月以降再上昇し、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録。その後再度下落し、2022年8月には612ドル/mbf(前月比▲4%減)となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持。



資料: (住宅着工戸数) 米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)  
(製材価格) Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年8月は月央価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

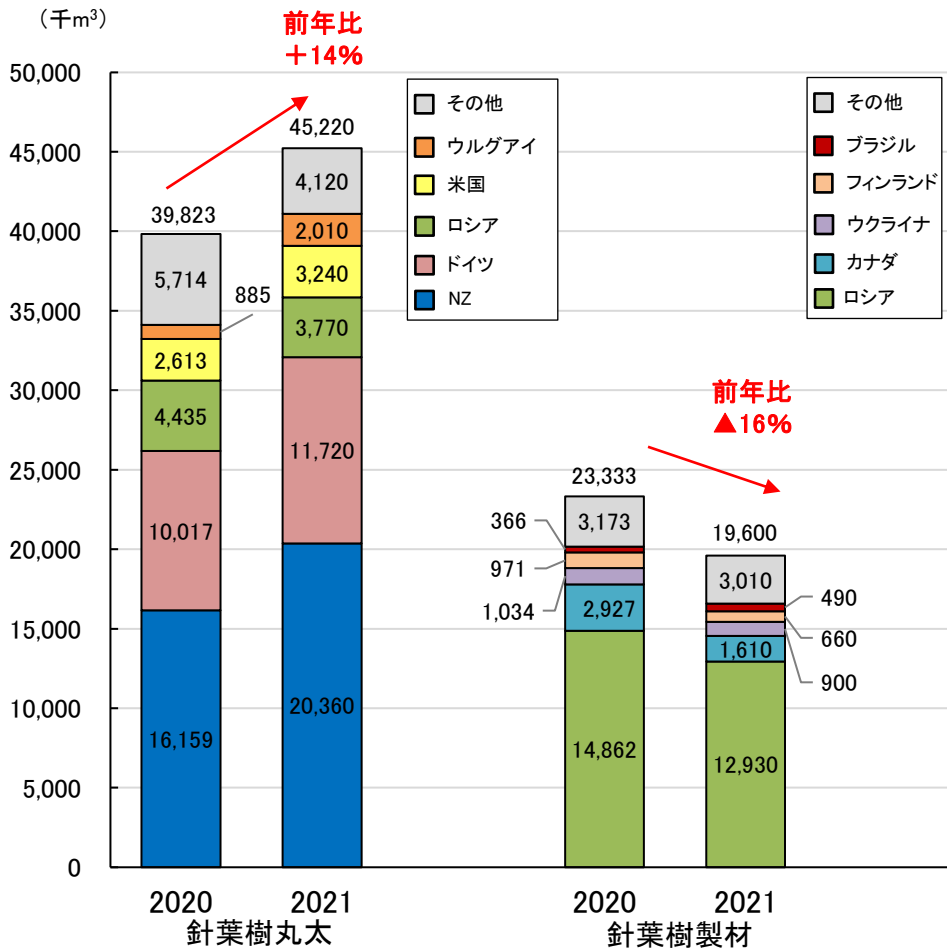
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移

## (参考2) 欧州・中国における木材需要の動向

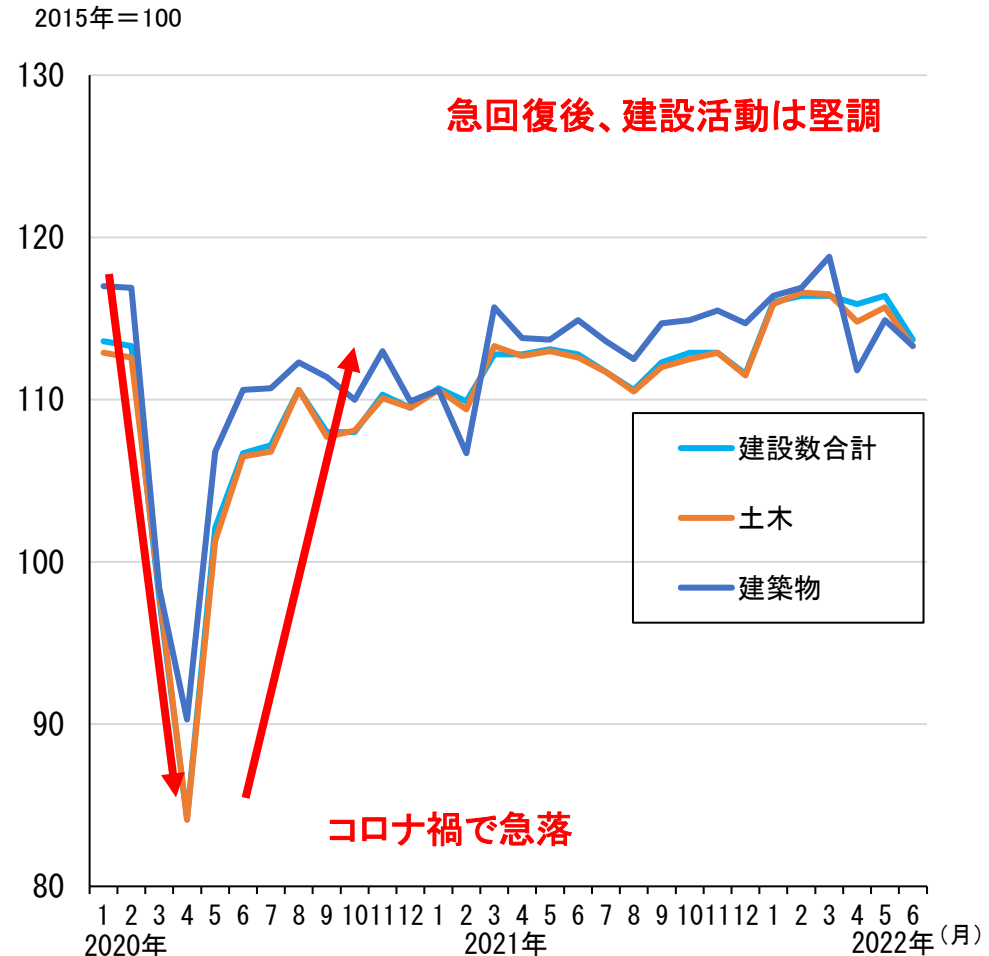
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+14%増の4,522万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

※R4.5 針葉樹丸太データを修正

中国の木材輸入量  
(2020年、2021年)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準 (2015年比)